



## 【おうち英語】わが家が目指すゴール～偏重バイリンガル～

何か物事を始める時、最終のゴール設定が大切と言われます。

しかし、、、

【おうち英語】を始める時に、明確な将来のビジョンやゴール設定を定めてから【おうち英語】を始める方というのはほとんどおみえにならないのではないのでしょうか。。。

私もその例外ではなく、【おうち英語】を始めた当初は  
「将来、英語ペラペラになったらいいな～♪」  
と目標とも呼べないただの願望しか持っていませんでした。

実に”ぼんやりした””漠然とした””ふわっとした”イメージで始めてしまいましたね・・・。

- ・将来っていつ？
- ・ペラペラってどれくらい？

おうち英語をスタートした時、私はハッキリと答えることができなかったため、わが家のおうち英語は随分迷走したり悩んだりしてきました。。。

しかし、それらの経験、子供の成長過程、日本で生活していくという環境から、この辺りを目標とするのが無理がなく妥当なのではないか、というようなものが見えてきました。

現在、わが家のおうち英語が目指している目標は【偏重バイリンガル】というものです。

偏重バイリンガルとは、  
「二言語のうち、片方の言語レベルが高いバイリンガル」のことです。  
母国語である日本語を犠牲にすることなく、英語も可能な限り、母国語方式で吸収させることを目標・指針としてきました。

指針としてきました・・・と書くと私が主体的に選んだように聞こえてしまいますが、そうではなく、必然的にそうなった、と言えます。

私が子どもに英語を与えた始めたのは、先にも書きましたが、

「将来、ペラペラになったらいいな〜♪」

という実に動機としては短絡的なものでした。

しかし、、、子どもが成長するにつれ、自分たち親子は日本で生きていくのだということに気付かされていきます。

通学圏にプリスクールなんてないから普通の幼稚園に行くでしょ、もちろん小学校に代わるインターナショナルスクールもないし、インターナショナルスクールどころか私立小学校もない! だいたいそんなお金もない(常に厳しい懐事情・・・) 海外転勤になることもほぼほぼあり得ない話だし。・・・ってことは、この先、小中高と公立だよな、もちろん大学も。

という単純なストーリー展開に・・・。

こうなってくると、母語である日本語が子どもたちにとって一番大切になってきます。

「日本語で学び、日本語で思考すること」が必要になることが明らかでしたので、日本語を犠牲にしてまで英語に没頭することだけは厳禁だなど思いました。

親のふわっとした憧れだけで始めたことで子どもの人生を駄目にしてしまうことだけは避けないと・・・と思ったのです。

しかし、幼児期が言語習得の黄金期であるとも信じていましたので、時間が許す限り、時間を英語にも割こうと思って取り組んできたわけです。

英語をやり過ぎれば日本語が犠牲になってしまう、英語をやり足りなければ英語は身につかないだろう・・・

でも丁度良い比率はわからない!(-\_-;)

という手探りな状態をずっと続けてきた感じです。。。

先が見えない、どんな結果になるのかわからない、まるでどんな結末かわからない映画を見るようなモヤモヤ感をずっと抱えてきました。誰かネタバレしてー!みたいな(^^;)

丁度良い比率は皆目見当がつきませんでした。とりあえず日本語を超えてはいけないのだから、「比率も日本語を超えたらダメでしょ」という単細胞思考で日本語6:英語4くらいの割合で子どもが触れる言語の割合を調整していました。

私としてはそんな感じで節度を持って取り組んできたつもりのおうち英語でしたが、まったく英語を取り入れていない10:0ご家庭に比べれば、4も英語に割いているということで、世間的には英語に夢中なクレイジー親子という印象を与えていたものと思われまます・・・(-\_-)

(まあ、そのあたりは今後書いていきたいと思いますが、おうち英語にはそれなりの孤独感もありますよね〜〜)

先も見えない中、始めてしまったからにはやめるわけにもいかず、ただひらすらに黙々と6:4ルールで育ててみたわが子。

とりあえず、ある程度のレベルの英語なら英語で理解できる子に育ったと思っています。

もちろん純粋なバイリンガルではありませんし、帰国子女でもありませんので、どんな英語でもドントコイ!というわけではありませんが、話題に抛りますがCNN10も字幕なしで耳だけで理解できるレベルにはなりました。

英検で言うなら、娘は準1級をノー勉で合格することができました。(ライティングだけ書き方を確認しました)今は高2ですが、英語はノー勉でも模試等のテストで偏差値70を下回ることはありません。(息子は後日書きたいと思っていますが、ディスレクシア的な傾向がありますので、英検のようなタイトルは持ち合わせておらず。。)

英語の力に関してはそんな感じでしか表せませんが、日本語に関しては日本語ネイティブスピーカーの私から見て全く問題ない状態であると思っています。日本語の能力を犠牲にしてしまった様子はなく、学習面等で困ったことは今のところ一切ありません。

【ネイティブのように自由自在に英語を操るバイリンガル!】にはなれませんでした。【名を捨てて実を取る】ことはできたように思っています。

英語の学習方法は星の数ほどあるように思います。

大人になってからも十分習得可能だという意見も聞かれます。

しかし、わが子のように能力が人並みで平凡な子の場合、きっと公教育に英語を委ねては決して今のレベルにさえ至らないのではないかと思うのです。(それは親の私が証明していますし…(￣▽￣);)

おうち英語を開始してから、17年経ってようやく、現実的な選択ができ、それなりの成果を手にすることができたのではないかと振り返ることができているところです。

あまり魅力的な方法ではないかもしれませんが、こんな方法もありますよ♪という選択肢を共有出来たら…と思っています。

子どもというのは希望に満ち溢れた存在で、親にいろいろな夢を思い描かせてくれます。私もそうでした。

「わが子を英語ペラペラに〜♪」と思っている方に【偏重バイリンガル】というのは地味で魅力的に響かないかもしれない・・・と思いつつも、現実的な選択を重ねてきた我が家の記録を一つの記録として知っていただければと思っています。

そして私だけでなく、わが子もその結果に満足していることもお伝えしていけたら・・・と思っています♪

今後ともよろしくお願いいたします!(^^)

出典: MommyKayo Note 2020.9.23 公開記事